

市長のあつあつ情報

No.8

もばうの活性化につなげる

今年も3月下旬に、「茂原桜まつり」が茂原公園で開催されます。継続して実施しており、また茂原公園の施設等長寿命化計画に基づく園内通路舗装・側溝整備、弁天橋の塗装等の工事も完了する見込みです。来園者の皆さまにより快適にお花見をしていただくと考えております。そして快適で思い出に残る公園「茂原公園」となることで、より多くの方が訪れ、本市の活性化につながっていくものと考えております。

話は変わりますが、活性化と言えば先日、茂原市にちなんだ新商品のお披露目会が市役所で行われました。本市では6次産業化に向けた特産品の開発を農産物直売所「旬の里ねぎぼうず」と地元の高校3校と連携し取り組んでまいりました。具体的には高校生と「キャリア教育ゼミ」を通じて定期的に協議を行い、高校生のデザインやコンセプト

の発想を踏まえた検討を行ってまいりました。そしてこの度、新たに3品が完成したことから、お披露目として製作者からの説明を伺いながら、試食させていただきました。

1品目は「本納絵馬クッキー（ほんのう絵馬物語）」です。本納絵馬5代目の矢部宏先生にも同席いただき試食しました。デザインは2種類でモバリんと白馬、それぞれに本納ねぎが描かれており、米粉とはちみつを使用した触感の良いクッキーです。

2品目は「ねぎまる」です。時期によりねぎと玉ねぎのおいしい方を使い、生地には米粉を使用しています。ちよつとスパイシーなカレー味で非常に香ばしいおやきです。

3品目は「葱ッペ餃子ジビエバージョン」です。人気の葱ッペ餃子の中身に使用する肉をイノシシ肉に変更しています。もちろん周りの皮はネギをイメージし緑色にするた



茂原市長 市原 あつし 淳

め本納ねぎを使用しています。今回試食しました3品は全てがとてもおいしく素晴らしいものでした。先ほどもお話しましたが、開発には地元の高校生の皆さん、ねぎぼうずのスタッフの方々、市農政課と官民連携で行われました。当日は茂原高校と茂原樟陽高校の生徒も出席し試食されましたが、高校生たちの茂原市を思う気持ちとイメージが盛り込まれストーリー性のある商品となっています。そしてこのようなコラボを他業種にも拡張させ本市の活性化につなげたいと考えています。

「今月の1枚」



▲ロケで作った太巻き寿司